



神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2010-2011年度 R I 会長 レイ・クリンギンスミス



地域を育み、大陸をつなぐ

2010-2011年度 第2590地区ガバナー 川野 正久

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ● 会長 横山 範夫 | ● 会長エレクト 加藤 仁昭 |
| ● 副会長 渡邊 淳 | ● 副会長 月山 勇 |
| ● 幹事 飯田 泰之 | ● 副幹事 天野 公史 |
| ● 会計 朝日 達夫 | ● 副会計 田口 健太郎 |
| ● S A A 伊澤 政宏 | ● 副 S A A 小池 将夫 |
| ● 副 S A A 山本 芳弘 | ● クラブ会報 金森 欣一 |

●クラブテーマ「コミュニケーション」●



- 事務局** ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555
- 例会日** 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)
- 例会場** ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和 51 年 5 月 29 日
- URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail** kerc@beach.ocn.ne.jp

2010-2011年度 第42号週報 No. 1696 2011年(平成23年) 6月3日 第1696回例会記録 6月10日発行

司 会 天野 公史 副幹事

誕生日祝 佐藤 勝彦 会員 (6月9日)

点 鐘 横山 範夫 会長

齊 唱 「君が代」 「奉仕の理想」

四つのテスト 江森 国一 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介 庄司 圭太 様 (ゲストスピーカー)

ビジター紹介 東京南 R C 雪野 潔 様



本日〈6月10日〉のプログラム

- ◆ 齊 唱 「我等の生業」
- ◆ 献 立 仔牛フィレ肉のポワレ 茸ソース
- ◆ 卓 話 「顧客満足を考えた接客マナー・ホスピタリティとは」
ビジネスマナー講師 井上とも美 様
(紹介者 茂木 知子 会員)

幹事報告

- 川崎RCより創立60周年記念誌が届いておりますので回覧致します。
- 次週、例会終了後に6月度定例理事会を開催致します。今回は、次年度の理事役員の方にもご出席頂きたく、よろしくお願い致します。
- 次週例会にて、新会員白井康夫氏の入会式を行います。また、只今入会審査中の大橋ボクシングジムの大橋秀行氏につきましては持ち回り臨時理事会にて会員選考の手中となっております。
- 次々週17日(金)例会終了後に今年度最後のクラブ協議会を開催致します。各委員会委員長の方には今回はレポートの提出はなしで、1年間の反省や成果についてご報告を頂きたいと思っております。
- 2010年度横浜東RAC6月第2例会の案内が来ておりますので回覧致します。
- 本日のゲストスピーカー庄司様の書籍コーナーを入口に設けておりますのでよろしくお願い致します。
- 米山奨学会より横山会長に第4回米山功労者マルチブルの感謝状が届いておりますので贈呈致します。



載された話題に、会員の方々がいろいろな意見を下さいました。疎開の話、教育勅語の話など、歴史の上でしか残っていないことを体験した方々だから伺えるお話、時代を振り返る機会を与えられました。私は戦後の第2次世界大戦前の日本を否定する教育でしたので、教育勅語は内容を知ることも無く、古臭い掟のようなものと思っていました。しかし、内容や会員の方々のお話を聞き、考えがあらたまりました。また、このような話題に熱心に答えて頂いた会員の方々に感謝致します。

また、だんだん遠くなる昭和を思い出させてくれました。例えば、海外旅行のお話を伺った時、アンカレッジという地名が出てきて、忘れていた時代模様がよみがえりました。ソ連という大きな国があって、世界が2つに分断されており、今は人に忘れられた場所は大変重要なところであったこと、また、世界を旅している会員と話が發展して、サウジアラビアを旅行した時の逸話なども聞かせて頂きました。まだまだお伺いしたいことがありますので、機会がありましたら、よろしくお願い致します。

今月号では卓話の泉の再生医療というお話に興味を持ちました。今後再生医療は多くの人達を苦しみから救うだけでなく、ビジネスチャンスを生み出すこととなると思います。しかし、遺伝子操作、自然淘汰の消滅など問題点もあると思われまます。

1年間ありがとうございました。

出席報告

森永 健 委員長

会員総数	55名	(39+16)名	
出席会員数	42名	(32+10)名	
出席率	85.71%		
ゲスト	1名	ビジター	1名
前回補正後	86.28%	前々回補正後	91.49%

◎例会変更のお知らせ

* 神奈川ロータリークラブ

平成23年6月30日(月) 移動夜間例会・新会員歓迎会

* 横浜鶴見西ロータリークラブ

平成23年6月15日(水) ⇒ 19日(日) 年度末一泊例会

委員会報告

雑誌委員会 委員長 茂木 知子

早いもので、今日が雑誌委員長の最後の報告となりました。この1年間、色々な会員の方々からお話を伺う機会があり、楽しく、有意義であったと思います。

まず、失礼ながら、後期高齢者に達した会員の方々の探究心、向上心に非常に感銘を受けました。チラシから、卓話の講師を探し出したり、手帳の活用など見習うべき点が多々ありました。雑誌に掲

スマイルボックス

伊澤 政宏 SAA

佐藤勝彦君 お誕生日祝い、ありがとうございます。四十路も中盤にさしかかって来ました。

横山範夫君 ①庄司圭太様、よろしくお願い申し上げます。②昨日の第2テーブルミーティング横溝テーブルマスター、須永副マスター、そしてご参加の皆様、ご苦勞様でした。

月山 勇君 昨日の第2テーブルミーティングでは、横溝&須永両マスターには大変お世話になりました。政治や被災地支援の話で大盛り上がり。一杯飲まなくても盛り上がりたもので・・・。

飯田泰之君 ①昨日の第2テーブルミーティング横溝マスター、須永副マスター、ご苦勞様でした。②本日のゲストスピーカーの庄司様、卓話よろしくお願い致します。

澁谷高弘君 白鳥さん、先日はありがとうございました。あっという間に時間が経ってしまいました。

伊東英紀君 横山年度最終月になりました。あと一ヶ月、よろしくお願い致します。

西山 潔君 山本芳弘さん、山田正憲さん、飯田泰之さん、先日は大変お世話になりました。とても有意義な時間となりました。

川邊正男君 ①昨日の第2テーブルミーティングにご参加の皆様、お世話様でした。②庄司先生、卓話楽しみにしています。

須永久一君 昨日の第2テーブルミーティングご参加の皆様、お疲れ様でした。

天野公史君 ①白鳥さん、先日は楽しい時間をありがとうございました。時間が経つのを忘れてしまいました。②横溝マスター、須永副マスター、昨日はありがとうございました。

横溝 亘君 第2テーブルミーティング出席の皆様、お疲れ様でした。皆様のご協力で楽しく過ごせました。

茂木知子さん ～コンちゃんの死～ 水曜日、キツネのコンちゃんが死にました。私のところに来て11年経ちました。その間、主人と各駅停車の旅などに出演致しました。

竹山 洋君 第2テーブルミーティング横溝マスター、お世話になりました。

白鳥厚夫君 三枚町、片倉町等の皆様、お世話になりました。ありがとうございます。

山本芳弘君 昨夜のテーブルミーティングご参加の皆様、お疲れ様でした。

伊澤政宏君 横溝様、昨日のテーブルミーティング、欠席で申し訳ありませんでした。5人目にしてやっと男の子が生まれました。

徳川幕府は二百六十年間、将軍職十五代の長きに渡って続きました。なぜこんなにも長く持続したのか？これには鎖国政策、参勤交代、大名家族の人質制度などいろいろな政策が絡み合ったためだとよく言われますが、わたしはそれとは別に、感心するくらいよく出来た官僚制度とその組織を動かしたマンパワーが支えになったと考えています。

特に目を見張るのが老中（内閣）を頂点とする幕府の組織と老人パワーです。

組織のトップ老中のメンバーは通常、数名の者が選ばれました。ユニークなのは、この老中に比較的石高の低い大名を充てたことです。

何十万石という大大名は発言力はあるが腰も重い。弊害は俺が俺がと己の意見を主張し、まとまるものもまとまらないという点です。

こういう人間心理を見抜いて、石高の低い譜代大名を登用したのは、まさに慧眼といえるでしょう。

通常、老中には三万石から十万石（五万石あたりが中心）の間の大名が選ばれました。彼らは全国から大阪城代、京都所司代などを経て選抜されてきます。もともと老中になって幕府を動かす名を上げたいという青雲の志を持った連中ばかりですから、若い頃から猛勉強もしているし情熱も持っています。

そういった彼らが少数精鋭、御用部屋に於いて熱っぽい議論を闘わせて、政策を決めていったために意思決定も早く、政治が動いていったと考えられます。

また、それを支えたのが若年寄、大目付、目付であり全部で百を超えるくらいあった奉行は、組頭、頭取などの下僚です。（ちなみに奉行職はその半分の五十近くあった）これが緊密、かつ熱心に働くために幕府の組織は盤石だったのです。

ここで驚くべきは、その奉行たちに七十歳以上の老人たちが活躍していたという事実です。定年がありませんから、多い時には七十歳を超えた者が半数近く奉行を勤めていた時期があります。

江戸時代、平均年齢が低かったのは事実です。しかし、庶民と違って武士たちは日頃鍛錬していたことと粗衣粗食に慣れていたおかげで長命だったようです。また、彼らは「わしが幕府の屋台骨を支えるのだ」という気概と使命感に燃えてもいました。こうした老人パワーがあったために、幕府は二百六十年間も続いたと思います。

ちなみに現役最高齢では九十九歳の林奉行がいたという事実があります。また、八十を超え、毎日のように城に上り実務をこなした奉行もいたということです。現代の我々もこうした老人パワーを大いに見習うべきだと思いますが、いかがでしょうか？

6月3日	16件	38,000円
本年度累計		1,993,100円

卓 話

「徳川幕府はなぜ260年も続いたのか？」

時代小説家 庄司 圭太 様
(紹介者 川邊 正男 会員)



ロータリーミニ情報

職業研修チームが幼児教育を支援

ルステンブルク（南アフリカ）とブリッジポート（米国コネティカット州）の2地域は、貧困、崩壊家庭、健康問題、低い識字率などの幼児教育における共通課題を抱えていました。そこで、2つの地域が協力し、幼児教育の専門家から成る職業研修チームを相互の地域に派遣しました。

未来の夢の試験地区から派遣されたこれらの職業研修チームは、地理的な違いを考慮しながら、就学前教育のカリキュラムや設備、地域との協力といった点についてアイデアを交換し合いました。ロータリー財団のグローバル補助金35,625ドルを受けたこのプロジェクトは、教師を対象としたオンライン研修も組み込まれており、「基本的教育と識字率向上」の重点分野と関連しています。

米国からの研修チームは、南アフリカの7つの幼稚園を訪問しました。南アフリカのメンバーたちと、危機的状況にある幼児の教育支援について多くの意見を交換出来た、とメンバーたちは話します。「HIV/エイズや低水準の生活環境、さらに貧困家庭の現状など、南アフリカの人々が直面している問題について理解を深めることが出来ました」

一方、南アフリカからの研修チームは、コネティカット州の幼稚園や保育センターを訪問し、ワークショップや育児プログラムに参加したほか、地元の短期大学で教師研修を受けました。南アフリカで幼児教育に携わっているベルサ・モフベさんは、教育や給食管理など、普段から多重の責務に追われているそうです。より多くの大人から支援を得る必要があっても、親のほとんどが10代であるのが現実だと話します。同じくチームに参加したショーン・タンマーさんは、祖父母による協力の重要性を指摘します。「祖父母たちは喜んで学校の手伝いをしてくれる、まさに未開発の教育支援リソースです」

また、質の高い教師研修の大切さについても説明するタンマーさん。地元では、教師の専門スキルを向上させるためのワークショップが毎週実施されているそうです。

今後、両国の教育者たちは、幼児教育の教員資格を取るために、オンラインの研修コースを利用する予定となっています。メンバーの一人は、今回の訪問を振り返りつつ、これからも協力を続け、将来の研修や研究プロジェクトの計画を立てることに意欲を燃やしていきたいと話します。また、あるメンバーは、両国の子どもたちを支援していけるよう、末永くこの協力関係を維持していきたいと話してくれました。

国際ロータリー・ニュース

ポリオ撲滅の実現には新たな決意が必要とゲイツ氏

5月24日、ニューオーリンズで開催中のR I国際大会でビル・ゲイツ氏が基調講演を行い、ポリオ撲滅に向けた大きな進展に貢献したロータリーを称えるとともに、何千人もの子どもたちを依然脅かしているこの病の撲滅には、さらなる努力が必要であることを訴えました。

「世界の多くの地域でポリオが過去のものとなったことは、本当に素晴らしいことです。しかし、これによって、ポリオを忘れてしまう人が多いことも事実です。ポリオは現在も続いている病気です。このことを世界のリーダーに知ってもらわなければ、ポリオは将来にも続いていくでしょう」

1988年以来、世界でのポリオ感染例が99%以上減少したことに言及したゲイツ氏は、「ここまで来られたのはロータリーのおかげです。ポリオ撲滅活動においてロータリーのパートナーとなれたことを、本当に光栄に思います」

さらに、今年の3月までにインドで報告された（今年）感染例

が1件だったことにも触れました。「インドでは感染例がゼロに近づいています。ロータリーなしには、このような進展は不可能でした」

しかし、撲滅寸前となった現在、最も難しい局面を迎えていることをゲイツ氏は指摘します。「ポリオ撲滅には、近年多額の資金が投入されてきました。最後の1パーセントの撲滅、これが一番難しい1パーセントなのです。この会場にいる皆さん、そして全世界のロータリアンの皆さん全員の協力がなければ、この難関を乗り越えることは出来ません」

これまでゲイツ財団はロータリーのポリオ撲滅のために3億5,500万ドルの資金を寄付してきました。また、ロータリーでは、この資金に2億ドルを上乗せして寄付するための募金活動「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」を展開しています。このチャレンジに向け、現在までに1億7,320万ドルの募金が集まっています。

引き続きロータリーのリーダーと協力しながら、各国政府にポリオ撲滅への支援を呼びかけていくことを、ゲイツ氏は誓いました。「ポリオ撲滅まで『あと少し』であることを、世界中にわかってもらうため、ロータリーは全力を尽くしてくださっています」

カナダ、アラブ首長国連邦、英国、米国をはじめ、各国政府がポリオ撲滅への支援額を増やしています。しかし、世界ポリオ撲滅推進計画のための来年の資金として4億ドルが不足している中、手を緩めるわけにはいかないと、ゲイツ氏は主張します。

「世界の有名建造物に映し出されたロータリーの『End Polio Now』のイルミネーションは、非常に強いメッセージを発信した」とゲイツ氏。「しかし、最強のメッセージは、単に映し出されたイルミネーションではありません。それは、私たちの行動で示されるものです」

国際ロータリー・ニュース

6月度定例理事会議案

日 時 平成23年6月10日（金） 例会終了後
会 場 ホテルキャメロットジャパン 4階 フェアウインド

議 題

【報告事項】

- (1) ロータリー財団学友会賛助金支出の報告
- (2) 入会申請者の報告
- (3) その他

【審議事項】

- (1) 創立35周年記念年度末夜間例会の件
- (2) 春の家族会決算承認の件
- (3) 退会届受理承認の件
- (4) 東日本大震災における災害義援金の件
- (5) その他

次回《6月17日》の卓話予定

年度末挨拶

会長、副会長、幹事、会計